



国登録有形文化財「五毛座」大規模改修工事が完了
中村勤九郎、中村七之助、中村鶴松、中村いてう（恵那市出身）
～歌舞伎公演前のトークコーナー～

議会だより6月1日号

～目次～

3月議会定例会提出議案の概要……………	2～3
議案議決結果……………	4～5
議会活動報告……………	5
3月議会常任委員会報告……………	6～7
一般質問（8人登壇）……………	8～11
中学生と恵那市の未来を語る会……………	12～13
市議会傍聴アンケート結果……………	14～15
主な出来事、表紙の説明……………	16



令和6年 第1回定例会

一般会計予算29.8億円を可決

「第2次総合計画後期基本計画」の4年目の本年度「子育て支援」、「災害対策」に重点を置いた施策を実施するための新年度予算等について審議

令和6年第1回定例会が2月22日から3月22日までの30日間にわたり開催されました。

今回の議会に上程された議案は、専決処分承認1件、条例の制定1件、条例の一部改正19件、その他6件、人事案件1件、補正予算6件、当初予算10件、請願1件、追加議案では条例の一部改正1件、補正予算1件、その他1件、議会提出議案1件、の合計47件です。主な議案の内容は次のとおりです。なお、議決結果は4、5ページの議決一覧表にて掲載してあります。

条例関係

○恵那市債権管理条例の制定

市の債権の管理について、法令に基づいて適正な管理と確実な回収に努めるという基本姿勢を明らかにするとともに、適正な事務処理に関する規定を定める。

○恵那市手数料条例の一部改正

地方公共団体の手数料の標準に

関する政令及び省令の改正に伴い、所要の改正を行う。

○恵那市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

恵那市特別職報酬等審議会の答申に基づき、所要の改正を行う。

○恵那市会計年度任用職員の報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

地方自治法の一部改正により、所要の改正を行う。

○恵那市市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の一部改正

地方自治法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、所要の改正を行う。

○恵那市基金条例の一部改正

恵那市公共施設整備基金及び恵那市家畜貸与基金の目的等を改め、新たに介護人材、保育教諭及び看

護師に関する修学資金の貸付基金を創設するなど所要の改正を行う。

○恵那市役所振興事務所等設置条例の一部改正

岩村振興事務所の移転に伴い、庁舎の位置を改めるため、所要の改正を行う。

○恵那市国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、賦課限度額及び軽減判定基準額が引き上げられたため、所要の改正を行う。

○恵那市子ども発達センター条例の一部改正

児童福祉法の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

○恵那市病児保育所設置条例の一部改正

ひとり親世帯の病児保育所使用料を新たに設定するため、所要の改正を行う。

○恵那市介護保険条例の一部改正

介護保険事業計画の見直しに伴い、第1号被保険者の介護保険料を改めるため、所要の改正を行う。

○恵那市指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例の一部改正

○恵那市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防

のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

○恵那市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正

○恵那市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部改正

○恵那市水道事業給水条例及び恵那市水道の布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の一部改正

水道法の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

○恵那市消防関係手数料徴収条例の一部改正

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

○恵那市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

子育て支援施設等の運営に関する基準及び、母体保護法施行規則等の一部改正に伴い、所要の改正

を行う。

○恵那市学校設置条例の一部改正

屋内運動場冷暖房設備の使用料（1時間1,300円）を設定するため、所要の改正を行う。

○恵那市税条例の一部改正

雑損控除の特例を設けるなど、所要の改正を行う。

その他

○契約の締結

防災行政無線設備（同報系）の部分更新工事
契約額 1億9,910万円

相手方 中央電子光学株式会社 東濃支店

○契約の締結

河鹿橋補修・補強（2期）工事
契約額 2億5,410万円

相手方 セントラル建設(株)

○財産の処分

契約額 2,256万3千円

相手方 株式会社 オザキ
土地の所在地番 恵那市岩村町字塩坪2182番59 山林 60,775㎡

○調停を成立させること

福祉医療費支給金返還請求における債務不存在確認請求調停事件の調停を成立させることについて、議会の議決を求めるもの。

○市道路線の廃止及び認定

豊田市と恵那市の道路管理境界

を明確にするため廃止及び認定を行う。

・上矢作町83号線、串原40号線（廃止）

・上矢作町95号線、上矢作町96号線、串原52号線（認定）

○人権擁護委員の候補者の推薦

委員の任期が満了するのに伴い、新たに候補者を推薦する。

杉本純一 氏（東野）

○財産の取得

恵那西工業団地開発事業で整備した用地を、恵那市土地開発公社から取得する。

契約額 2億2,410万5,326円

土地 恵那市武並町竹折字折坂199番地319 外4筆 18,571㎡

議会提案

○恵那市議会傍聴規則の一部改正

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律に基づき、所要の改正を行う。

請願

○恵那南地区中学校統合に関する請願

恵那南地区中学校再編についての説明会の開催を求めるもの。

予算関係

当初予算一般会計

298億円を可決

○令和6年度当初予算関係

一般会計の歳入では、市税は、景気の回復傾向による法人市民税や個人市民税の増加などにより、前年度比0.9%増の6,450万円の増収を見込んでいる。

歳出では、子育て支援事業の拡充、地消地産による地域産業の活性化事業、恵那未来キャンパス事業、ラリーを活かしたまちづくり推進事業、市制20周年記念事業など、全体では、物価高騰の影響などもあり、前年度比11.7%、31億2,000万円増の298億円の前算を計上した。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計は、保険給付費の減少により前年度比1.7%、9,070万円減の51億8,220万円、介護保険事業特別会計は、介護給付費の減少などにより前年度比1.1%、6,750万円減の63億3,900万円とし、後期高齢者医療特別会計は、被保険者の増加により前年度比9.0%、7,570万円増の9億1,710万円、全体では0.7%、8,250万円減の124億3,950万円の前算を計上した。

企業会計では、水道事業会計の

資本的支出が、山岡地区計装機器更新事業などにより前年度比4.0%、4,440万円増、下水道事業会計の資本的支出が千田川処理区維持管理適正化事業の増などにより前年度比10.3%、9,870万円増など、全体では、0.6%、5,700万円減の90億360万円を計上した。

補正予算一般会計

2億3,823万1千円減を可決

○令和5年度補正予算関係

一般会計では、物価高騰等による家計負担増の影響により外出を控えている高齢者の外出を支援するための高齢者公共交通利用支援事業費に4,580万2千円を計上した。

緊急対応を要する事業として、恵那市学校給食センター洗浄室空調設備の設置及び食器洗浄機の更新を行うものに1億523万円、恵那峡スマートインターチェンジの事業化に向けた道路予備設計等を行うものに5,300万円を計上した。

寄付・国県支出金等を活用した事業として、農地利用最適化交付金の内示に伴う農地利用最適化事業費の増額を行うものに966万5千円を計上した。

3月議会定例会傍聴者数

32名

3月定例会 議決結果

(全会一致可決分)

議 案 名		採決結果
条例関係	恵那市手数料条例の一部改正について	可決
	恵那市債権管理条例の制定について	可決
	恵那市会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決
	恵那市市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の一部改正について	可決
	恵那市役所振興事務所等設置条例の一部改正について	可決
	恵那市国民健康保険条例の一部改正について	可決
	恵那市子ども発達センター条例の一部改正について	可決
	恵那市病児保育所設置条例の一部改正について	可決
	恵那市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
	恵那市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
	恵那市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決
	恵那市水道事業給水条例及び恵那市水道の布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の一部改正について	可決
	恵那市消防関係手数料徴収条例の一部改正について	可決
	恵那市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
恵那市学校設置条例の一部改正について	可決	
恵那市税条例の一部改正について	可決	
人事関係	人権擁護委員の候補者の推薦について (杉本 純一氏)	同意
その他	契約の締結について (防災行政無線 (同報系) の部分更新工事)	可決
	契約の締結について (河鹿橋補修・補強 (2期) 工事)	可決
	財産の処分について (市有財産の売却事業)	可決
	調停を成立させることについて	可決
	市道路線の廃止について (上矢作町83号線・串原40号線)	可決
	市道路線の認定について (上矢作町95号線・上矢作町96号線・串原52号線)	可決
	財産の取得について (武並町竹折199番地319 外4筆)	可決
令和5年度補正予算関係	専決処分の承認について (専第5号 令和5年度恵那市一般会計補正予算 (第8号))	承認
	令和5年度恵那市一般会計補正予算 (第9号)	可決
	令和5年度恵那市一般会計補正予算 (第10号)	可決
	令和5年度恵那市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第4号)	可決
	令和5年度恵那市介護保険事業特別会計補正予算 (第4号)	可決
	令和5年度恵那市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第4号)	可決
	令和5年度恵那市下水道事業会計補正予算 (第3号)	可決
	令和5年度恵那市国民健康保険診療所事業会計補正予算 (第4号)	可決

議会だより

(全会一致可決分)

議案名		採決結果
令和6年度予算関係	令和6年度恵那市国民健康保険事業特別会計予算	可決
	令和6年度恵那市遠山財産区特別会計予算	可決
	令和6年度恵那市上財産区特別会計予算	可決
	令和6年度恵那市後期高齢者医療特別会計予算	可決
	令和6年度恵那市水道事業会計予算	可決
	令和6年度恵那市下水道事業会計予算	可決
	令和6年度恵那市病院事業会計予算	可決
令和6年度恵那市国民健康保険診療所事業会計予算	可決	
議会関係	恵那市議会傍聴規則の一部改正について	可決

(採決が分かれたもの)

件名	会派・議員名	結果	新 政 会										共産党	公	市	リ	無			
			堀光明	後藤康司	鵜飼伸幸	千藤安雄	中嶋元則	西尾努	柘植孝彦	伊藤勝彦	服部紀史	太田敦之						山内敏敬	林貴光	猿渡南江
条例関係	恵那市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	恵那市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
	恵那市基金条例の一部改正について	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
	恵那市介護保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
	恵那市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
当初予算関係	令和6年度恵那市一般会計予算	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	○	○	
	令和6年度恵那市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
請願関係	恵那南地区中学校統合に関する請願	不採択	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	

* 共産党：日本共産党、公：公明党、市：市民ネット、リ：リベラルえな、無：無所属

○：賛成、×：反対、欠：欠席、-：棄権

他市町村からの視察受入状況(0件)	23日	18日	4月	25日	22日	15日	14日	12日	5日	1日	3月	29日	28日	22日	16日	14日	13日	7日	1日	2月	議会活動報告
	議会運営委員会	東海市議会議長会		議会だより編集会議	全員協議会	各派代表者会議	恵那市議会定例会(第2日)	恵那市議会定例会(第3日)	恵那市議会定例会(第4日)	恵那市議会定例会(最終日)		議会運営委員会	経済建設委員会	市民福祉委員会	総務文教委員会	広報広聴特別委員会	恵那市議会定例会(初日)	議会運営委員会	議会だより編集会議		



令和6年度は子育て支援がさらに充実

新規事業

- 子育て応援入学祝金支給事業…………… 806万円
(小・中学校入学時に祝金1万円を支給)
- 明知鉄道利用の高校生通学費支援事業……1,569万7,000円
(明知鉄道利用の高校生通学定期代の保護者負担額を1か月上限5,000円となるよう支援)
- 見守り支援員によるベビー用品配達事業
…………… 356万6,000円
(産後ケアの充実を図るため、見守り支援員が1歳までに2回産後の家庭を訪問)
- 出産子育て応援事業……………5,022万4,000円
(出産して間もない保護者を対象とした産後サロンを新規で実施)
- こども家庭センター
えなっ宝(こ)ほっとステーション
……………892万4,000円
(母子保健・児童福祉の両機能が
一体的に相談支援を行う)



重層的支援事業が本格スタート……1億7,405万円

- 分野を超えた包括的支援で「地域共生社会」を目指す

記念事業で観光誘客

大井ダム完成100周年や日本大正村立村40周年の記念事業を契機として恵那峡や日本大正村への観光誘客や市内観光消費額の増加を目指すため、関連イベントの充実や周遊事業、観光資源のPR、磨き上げ、新たな観光コンテンツの造成を支援します。

- 大井ダム完成100周年記念事業…………… 1,200万円
- 日本大正村立村40周年記念事業 …………… 687万4,000円



河川整備・維持管理事業



大井ダム

3月議会委員会報告

総務文教
委員会

令和6年度に新たに実施される主な事業

○小学校屋内運動場空調設備設置事業…… 15億6,476万円

市内の全ての小学校（東野小は令和5年度に整備）に熱中症対策として空調設備と照明のLED化を施し、空調設備は停電時も利用可能な電源自立型空調GHP（ガスエンジン・ヒートポンプ・エアコン）とし災害対策の強化も併せ図る。



東野小に整備された空調設備

○市制20周年記念事業……360万円

市制20周年記念式典を開催する経費

○明知城跡総合調査事業……2,470万9,000円

令和6年度から4ヵ年で国史跡指定に向け総合調査を実施する。

○「清流の国ぎふ」文化祭2024事業

……771万5,000円

各種イベント開催により恵那市の文化活動の魅力を発信する。

○校内教育支援センターの設置……1,405万3,000円

クラスに入ることが困難な生徒の学習の場を市内全ての中学校に設置する。

○次期総合計画策定事業……1,426万9,000円

令和7年度に最終年度を迎える市の最上位計画の策定に着手する。

経済建設
委員会

～令和6年度主要事業～

災害の防止に向けた事業

災害に強いまちづくりを目指し、河川等の氾濫を防ぐための河川改修や河道掘削による洪水時の被害軽減、災害時の避難所へ水道水を安定的に供給するための配水管の耐震化、地震発生時における旧基準建築物の倒壊等を防ぎ市民の生命・財産を守るための耐震診断や改修の促進、自然災害等により被災した山腹崩壊地を復旧整備し災害防止などを図ります。

○河川整備・維持管理事業…… 5,754万円

○重要給水施設排水管耐震化事業…… 3億6,858万円

○建築物耐震化事業…… 1,368万1,000円

○林地崩壊対策・治山流路工修繕事業…… 1,500万円



つげ たかひこ
拓植 孝彦

恵那市の地震災害 対策について



議会中継

問 恵那市で地震災害が発生した場合の被害想定はどのようになっていますか。

答 想定では、冬の朝の場合の人的被害が最も大きく、死者数は15人、負傷者数は547人、重症者数は26人となり、建物被害は、発災時期に関係なく、全壊が839棟、半壊が3,550棟の想定がされています。また、建物被害に伴う避難者数は3,260人の想定となっています。

問 住まいを失った住民の2次避難先として仮設住宅の確保が急務となるが、その場合の、建設候補地や建設事業者の体制は出来ているか。

答 恵那市地域防災計画では、最も被害が大きい場合で建物の全壊が5,905戸、半壊が8,742戸と想定されています。応急仮設住宅の建設可能用地として各地域に合計17か所を設定し、仮設住宅の1戸当たりの面積で算出した1,136戸を計画戸数としています。

問 建物の耐震改修は防災効果が大きいですが耐震工事に多額の費用が掛かり進まない面もある。耐震対策の新しい工法なども補助対象とできないか。

答 恵那市の現在の耐震化率は、64・5%で、今までに木造住宅耐震診断は503件実施し、耐震改修工事は46件にとどまっています。従来の耐震改修工事より工事が安価な耐震シェルターなど部分的な耐震補強にも対象となる補助制度を早期に検討してまいります。

(総務部長・建設部長)



耐震シェルターイメージ

一般質問



まちのみちあき
町野 道明

地震対応について



議会中継

問 能登半島では、広い範囲で大地震が発生しました。当地域でも、備えの対応が必要です。①地震発生率の周知、②液状化のハザードマップ、の周知、③住宅の耐震化、④断水地域や水道施設の耐震化、⑤罹災証明書のシステムなど、地震対応を備えるべきだと思う。

答 ①岐阜県の発表では、今後30年以内に東南海地震の発生する確率として、屏風山・恵那山及び猿投山断層帯は、地震規模がマグニチュード7.7発生確率が2%以内、阿寺断層帯がマグニチュード7.9発生確率1%以内、国は、30年以内で南海トラフ、マグニチュード8から9の地震発生確率80%以内とされていますので、防災講座などで周知し、市のウェブサイトに、広報紙などで市民の防災意識の向上を図る。②屏風山・恵那山及び猿投山断層帯、阿寺断層帯、南海トラフの地震発生では、液状化が発生し大きな被害が予想されるので、液状化のハザードマップ情報も広く周知する。③市内では

古い住宅も多く高齢化率も高いため住宅の耐震化は、県内の平均を下回っています。中でも市街地の密集地域の住宅耐震化は、個別訪問など地域を回るなど重点的な対応を行っていく。④断水地域の対応として、市内26か所の浄水場の稼働の確認、補水可能な消火栓、岐阜県水の応急ポイント箇所6か所、給水車により給水を行う。水道管の耐震化は、重要給水施設管路に重点を置き令和7年末には耐震化率57・3%を目標としている。⑤罹災証明書は、保険請求や会社の休暇申請、公的機関の支援制度の申請等に必要であるため迅速な交付に努めていく。

(総務部長、建設部長、水道環境部長、市民サービス部長)

その他の質問

文化財の耐震化、地震発生時のこどもの心のケア(副教育長)、災害ケースマネジメントの組織(医療福祉部長)



いとうかつひこ
伊藤 勝彦

「清流の国ぎふ」文化祭 2024と恵那市 恵那市の市民窓口サービス について



議会議継

『清流の国ぎふ』文化祭 2024と恵那市

問 文化祭に対する恵那市の構えや参加の効果は。

答 恵那市の歴史・文化・芸術等の地域資源を魅力として市内外に発信したり、次世代に受け継いだりする絶好の機会とする文化祭への参加により、その価値の再認識と観光誘客へとつながるなどの効果を見込んでいる。

問 恵那市としての文化祭への参加の仕方は。

答 9/8の飛騨・美濃歌舞伎大会えな2024に飯地五毛座、明智町、恵那の各歌舞伎保存会が参加予定。10/20の岐阜県獅子芝居公演に岩村、山岡、上矢作の3獅子芝居保存会が参加予定。10/27の岐阜清流座文楽公演に大井文楽保存会が参加予定。10月、11月に岐阜県美術館で開催されるルドンと山本芳翠の時代展に見学ツアーを実施予定。また、恵那の食・芸術・文化の祭典を11/17に恵那文化センターで、恵那市の歴史文化体験イベントツアーを11/4に正家庵寺や中山道大井宿で開

催予定。

(教育委員会事務局長)

恵那市の市民窓口サービス について

問 計画に基づいた行政サービスの取組状況は。

答 窓口サービスの向上では、開庁時間の延長やペーパーワークの設置など、申請しやすい環境づくりを、行政手続きのICT化では、ネット予約システムの稼働を、職員力の強化では、各種研修会の開催等への参加を行った。

問 令和7年計画終了までの今後の具体的な取組は。

答 「迷わせない、待たせない、書かせない」をコンセプトに窓口サービスのさらなる向上に加え、全国のコンビニで住民票等を取得できるサービスの展開、各振興事務所で手続きが可能となる端末を設置するなど、ICT化のさらなる促進を行う。デジタル化による利便性の向上と笑顔で親切な職員の対応による歓迎される恵那市の市民窓口サービスとしたい。

(市民サービス部長)



さわたりみなえ
猿渡 南江

若者が希望を持てる 有機農業を すすめるために



議会議継

問 化学農薬・肥料に対する取り組みは。

答 もみ殻、栗のイガ、剪定枝を燻炭化し、微生物を付着させた高機能バイオ炭として再利用(中野方で実証)。

問 有機農業で生計を維持するために、どのようなことがあるか。

答 有機野菜の玉ねぎ、キャベツ、大根、かぼちゃ、ニンニク、さつまいもなど購入しているが課題(数量確保など)も多くある。

問 2050年にむけた取り組みは。

答 目標達成にむけて、農家の声を聴きながら、国・県・JAなど関係機関が一体となり、生産性と安全性の両立、ならびに持続可能な農業となるよう進めていく。
その他の質問 訪問介護基本報酬の引き下げについて・最後まで住み慣れた家でくらすために
訪問介護報酬の引き下げは多くの国民の驚きと非難の声があります。また老後を家庭で暮らしたい方に不安を与えています。恵那市の状況をお伺いしました。

一般質問



にしお つとむ
西尾 努

恵那市の観光について



議会議中継

問 令和6年度は、市制20周年、大井ダム完成100周年、大正村立村40周年といった節目の年となるが、今後どのような事業が実施され、さらなる誘客を図っていくのか。

答 大井ダム完成100周年は、市内の一体感を醸成し、恵那市の魅力を発信することで観光交流人口の拡大を図る。記念事業は、発電開始の100周年に当たる12月12日（木曜日）からスタートし、15日（日曜日）までの4日間、実行委員会主催の下、記念イベントを開催。百周年をフックに福澤桃介の偉業を市内外に伝えるとともに、ダム見学会や市内ダムの周遊イベントなど、年間を通じて誘客事業を実施する予定。

令和7年4月には、恵那峡を中心とした桜シンポジウムの開催も予定されており、恵那峡大井ダム完成100周年記念事業と併せて恵那市の春をPRし、誘客を図っていききたいと考えている。

次に、大正村立村40周年は明智町を挙げて各種事業の準備が進められており、竹下景子村長による朗読劇が予定されているほか、大正村の記録を残すための記念フォ

トコンテンツを開催。ちよつとおんさい祭り、納涼花火大会など季節のイベントにおいても40周年をPRして、竹下村長と共に立村40周年事業を盛り上げていく。

さらに、3年目を迎えるラリージャパンは、11月21日（木曜日）から24日（日曜日）の4日間、開催予定であり、笠置山モーターパーク周辺を観戦エリアとして整備し、恵那駅前をリエゾンとして通過できないか検討している。これにより宿泊・飲食・その他サービス業を営む市内事業者の皆さん、市民の皆さんが昨年開催のラリージャパンをはるかに超える経済効果を直接実感できるような企画を打ち出していきたい。

他にも盛沢山であるが、本年も市制20周年を記念した各種イベントが開催され、今年1年だけでなく、リニア開通後、10年・20年先を見据えて、恵那市が持つ自然、歴史・文化、食、まち並み・風景、モータースポーツ等の魅力を国内外はもとより世界に発信し、国内外から観光交流人口の拡大を図っていききたいと考えている。

一般質問



はつとりのり ぶみ
服部 紀史

希望のもてる地域づくり 子育て支援日本一！ その先へ



議会議中継

問 住みたい田舎ベストランキング総合部門で第一位となった要因は？

答 今回、恵那市が点数を伸ばした主な項目をあげると、新たに始めた「移住希望者向けの宿泊費や交通費の補助制度」、「高校生世帯までの医療費無償化制度」、「第三子以降の出産祝い金制度」などでした。また、今回新たに評価対象となったのは、「SDGsの取り組み」、「路線バスやコミュニティバスの運行」、「小中学校へのALIT配置」などであり、恵那市にとって有利な質問が追加されたことによるものでした。

問 人口減少社会を見据え地域の抱い手の確保と地域の支援策の考え方は？

答 令和6年度には、都市部からの人材を「地域おこし協力隊」として迎え入れ、受け入れ希望があった地域で活動をしていただくことを計画している。マンパワーが足らなくて進められない課題を解決するとともに、新たな視点が加わることで新しい効果が

発揮されることが期待される。

問 定住補助金の効果的な支援の考え方は？

答 現在の定住補助金等については、見直しを令和7年度に行うこととしており、より効果的な支援制度となるように令和6年度から準備を始めて検証していく予定としている。

問 若者向けや地域ニーズに合った住宅施策の考え方は？

答 人口減少社会の中で、都市機能や生活サービスを維持するために、ある程度の人口密度が必要であると考えられるため、居住誘導エリアの設定が必要である。現在策定を検討している立地適正化計画においても同様の考えが求められており、そのため中心市街地における都市機能の維持、充実のため、用途地域やその周辺を居住誘導地域として設定したいと考えている。

(リニア都市計画局長)



ひらばやし たづこ

平林多津子

「ICT活用教育の現状と課題」 「市民に開かれた 市政めざして」



議会中継

問 成長発達上の課題となつて
いることはあるか。

答 ICT活用と、従来型の授業とのベストミックスを目指すし、研さんを積み上げる必要がある。学習面や生活面での個々の困難差を的確に捉え、目的を明確にすること・視力の低下を防ぐ配慮が必要であると考えている。

(副教育長)

市民に開かれた市政めざして

問 恵那市付属機関の審議会等の
考え方・規定はどのよう
なっているか。

答 基本的な考え方は、行政の
透明性を高め、公平公正な
市政の実現を目指す。会議の公開
(傍聴や議事録) については要綱
で定めている。

問 パブリックコメントについ
ては、どのような規定があ
るか。

答 施策課程における市民の市
政への参加の機会を提供す
ることを目的としている。今後も
広報紙やウェブサイトを通して、

幅広い意見収集に努めていく。

(まちづくり企画部長)

問 学校統合に関わる施策決定
までの委員会において、傍
聴や議事録等の扱いは、規則にの
つとて行われていたのか。

答 教育委員会付属機関等会議
の公開に関する要綱の規定
に基づき、傍聴や会議録などを取
り扱っている。会議録については
速やかに作成し、ホームページな
どで公開している。

問 施策決定過程において、パ
ブリックコメントが一度も
なされていないが、なぜなのか？

答 パブリックコメント手続要
綱の考え方では、対象案件に
ついては「不特定多数の市民を対
象とするもの」であり、統合中学
校の基本構想については、パブリ
ックコメントの実施対象ではない
と考えた。それらに代わる意見を
いただくために、地域や保護者の
代表からなる恵那南地区中学校統
合準備委員会理事会で意見を伺い
審議・承認をいただいていた。

(教育委員会事務局次長)



あんど なおみ

安藤直実

在宅療養が続けら れる医療介護を



議会中継

退院前カンファレンスに 家族の参加を

問 入院すると介護度が重症化
する高齢者が多い。退院後
在宅介護を希望した場合、ヘルパ
ーや看護師がいつ何時に入ってく
れるのか等、本人、家族の不安が
あります。恵那病院では退院支援
計画書に沿って、退院前に「介護
事業者」と「家族」を交えた情報
交換の場(退院前カンファレンス)
を実施できていますか。

答 退院支援計画書については、
本人・家族が安心して在宅
生活が送れるように関係者が情報
を共有し対応すべきもので、手続
きは適正に行われていると認識し
ています。退院が決まると医療機
関(病院)はケアマネジャーに患
者の入院中の医療内容をまとめた
記録書を送り、ケアマネジャーが
本人、家族、関係機関と調整し具
体的な介護サービスにつなげます。
ただし、急な退院になった場合は、
退院後患者宅で介護サービス調整
が行われると認識しています。

(医療福祉部次長)

訪問介護体制(ヘルパー) の充実を

問 市のアンケートでは、介護
度3、4、5で在宅介護を
受ける方のヘルパー(訪問介護)
利用ニーズは、早朝日中時間帯で
の「排泄介助」が特に高くなつて
います。利用時間帯が集中する中
で、必要な方にヘルパーが適切に
対応していけるのでしょうか。ま
た、令和6年度から国が訪問介護
の基本報酬単価を下げた。事業者
の意見はどうか。

答 専門職からは、夜間、早朝
や日中ヘルパーは十分な余
裕はないが他のサービスを組み合
わせて何とかやりくりしながら対
応していると聞いています。一部
事業所からは「訪問介護の基本報
酬単価は下がるが、介護職員等処
遇改善加算もあることから直ちに
経営が圧迫される懸念はないと思
われる」と聞いています。今後各
訪問介護事業所から情報収集を行
いサポートしていきます。

(医療福祉部次長)

その他の質問

- ・認知症対応サービス等の充実
- ・介護人材確保対策

中学生からの提案 実現したものは？



「中学生と恵那市の未来を語る会」を開催

昨年7月、市内8中学校の生徒会の皆さんをお迎えして「中学生と恵那市の未来を語る会」を開催しました。この会では、テーマを「持続可能な恵那市を目指して」SDGsにどのように取り組むか」とし、各校の取組を紹介。各校生徒会の取組とSDGsの目標とを結びつけ、恵那市の未来のためになることについて提案していただきました。



語る会の最後に参加者全員で記念撮影

「市公式チャンネル」で動画をご覧くださいませ▶



市長へ提言書を提出

昨年8月に各中学校からいただいた提案をまとめ、市長に提言書を提出しました。議長は「子どもたちの目線で考え、提案をしてくれた。市の施策に少しでも生かしてほしい。」との思いを伝えました。



左から、小坂市長、千藤議長、太田委員長、服部副委員長

市長からは「SDGsをテーマとし、この地域が持続可能であるために、どう貢献するかを子どもたちに考えていただいた。提案を受け止めて、実現に向けて動いていきたい。」との言葉をいただきました。

市から各中学校へ回答

市役所のSDGs推進室、学校教育課が窓口となり、提案いただいた内容について、各部署へ事業実施に向けた意見を募りました。今年2月には、提言を受けた市から中学校への回答書が各中学校へ渡されました。回答書のうち主なものについて紹介します。

恵那北中学校の提案

幅広い年齢層（小さな子どもから高齢者まで）が参加できるような「市民運動会」の実施を提案。既存の「健康フェスタ」に競技意識を高めた内容を追加する。例えば、小さい子が遊べるボール投げ、輪投げ等や、高齢者も参加しやすいポッチャ、大玉転がし等のブースを増やす。加えて、各地域での対抗戦「恵那市運動会」を行う。競技だけでなく、地域の特産品販売を企画段階から中学生が関わり、準備することで、ボランティア活動と競技参加で市の活動を支えたい。



スポーツ課の回答

毎年、市民体育大会陸上競技会を開催しているが、提案を受けて、今年には綱引き競技と中学生の種目を実施することとした。大人と中学生が一体となって参加できる新しい試みであり、その成果を検証して、幅広い年齢層による運動イベントを検討していく。

健康推進課の回答

健康フェスタでは、今まで以上に、小さなお子さんから、ご年配の方までが参加して楽しんでいただけるブースやイベントが提供できるよう、実行委員会で検討していく。

恵那西中学校の提案

中高生主催の恵那最大級『ENAFES』開催を提案。各学校の吹奏楽部や合唱、ダンス、演劇などを披露したり、バンドなどの参加募集をかけるなどして市民を盛り上げたい。また、市の特産物や名物、給食人気メニューの屋台などの物販や、会場内にエコステーションを用意し、資源リサイクルを呼びかける。市をあげてSDGsに関するイベントを継続的に開催する。中高生が企画・運営し、同年代が取り組んでいる部活動や学校活動を紹介したり、体験・交流ができる機会としたい。



SDGs推進室の回答

この提案をきっかけとして、昨年12月のSDGs講演会では、西中学校生徒が登壇してSDGsに関する活動事例を発表。参加者から「大変素晴らしかった」等の感想が届いた。SDGs推進協議会の皆様とともに、『ENAFES』を開催できないかなど、実現に向けた検討を進める。



昨年のSDGs講演会で発表する西中学校生徒ら

山岡中学校の提案

各中学校が、恵那のまちで採れる食材で給食献立を考え、その給食を食べる「地産地消給食週間」を提案。この活動を通して地域のことをさらに知り、生産者の方に感謝をし、少しでも食べ残しを減らすことで、生産者の方の働きがいにもつながると思う。「地産地消給食週間」では、生徒会が市で生産されている食材を各学年で紹介し、主食・主菜・副菜・汁物のどれか一品を考え、給食センターの方々に提案し、献立のメニューに入れてもらうようにしたい。



教育総務課・農政課の回答

市内で生産されている野菜や豚肉の献立を中学生が考え、学校給食の提供をする提案は実施可能。現在、農政課の事業で、恵那農高生徒が献立を考え給食に提供しており、その中学生版として進めていければと思う。また、地域で生産しているものは何か、地産地消の考えが児童生徒に浸透し、生産者からの声を聞き、給食の食べ残しが少しでも減ることを期待したい。

令和6年度、試行的に山岡中学校と実施に向けた打合せを行った。夏休みの宿題で、生徒が給食のメニューを考案し、学校給食センターの管理栄養士が試作して、給食として提供できるよう準備を進める。

申原中学校の提案

申原は救急車の到着に約20分もかかる地域。AEDが振興事務所を中心とする場所に集中し、いざという時にAEDを取りに行く時間がかかる地区がある。保健体育授業の一環で普通救命講習Iを受講・修了し、社会復帰できるような助けには3分以内の救命が必要とのこと。AEDを24時間いつでも使えるように分散して設置し、夜間でも利用できるように屋外にも設置してほしい。また、診療所の開院日を増やすなどして、安心できる医療を実現してほしい。



消防課の回答

申原福祉センターではAED屋外設置が完了しており、他の地域でも振興事務所など一部では屋外設置が完了している。令和6年度以降、不特定多数の方が多く利用する公共施設を中心にAEDBOXを屋外型に変更し、24時間使用できるように設置を進めていく。

地域医療課の回答

「恵那市地域医療ビジョン策定委員会」で持続可能な市の公的医療機関を検討し、市全体でオンライン診療などの医療DXや移動診療などが出来ないか考えている。医師などの医療従事者が不足するなか、限られた人材で安心できる医療を提供できるよう市民の皆様と考える事が出来ればと思っている。

令和5年

(回答数 98件)

議会傍聴アンケート

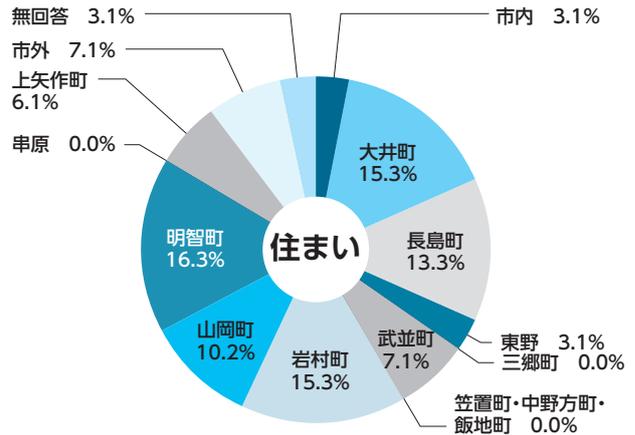
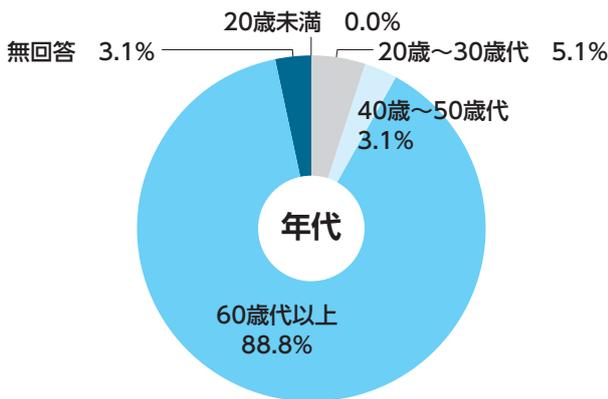
令和5年 定例会 傍聴者数

議会	人数
3月議会	20名
6月議会	28名
9月議会	13名
12月議会	37名
計	98名

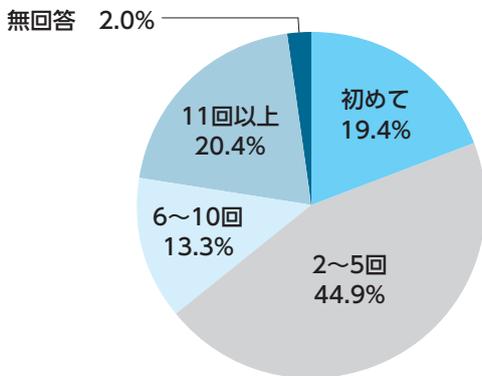
※人数は定例会のみ
(臨時会・委員会を含んでおりません)

傍聴者に、傍聴の感想や議会への要望などについてのアンケートを実施しました。

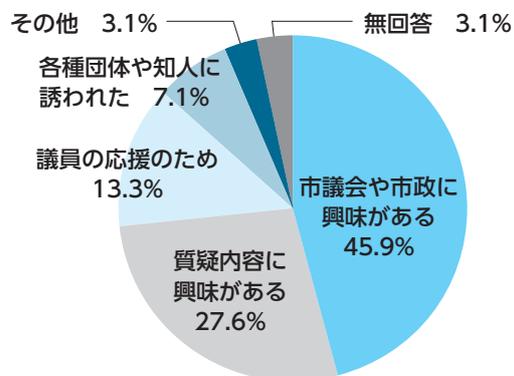
Q1. あなたの年代、お住まいの地域をお答えください。



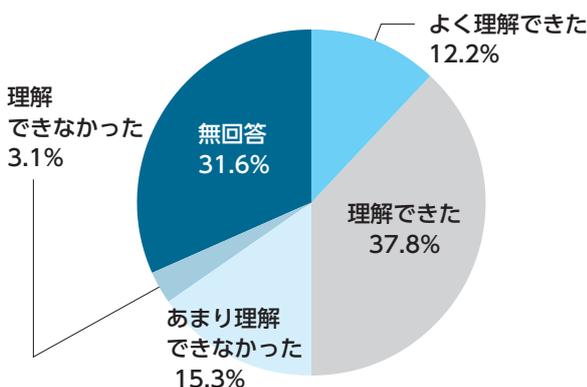
Q2. 議会の傍聴は何回目ですか。



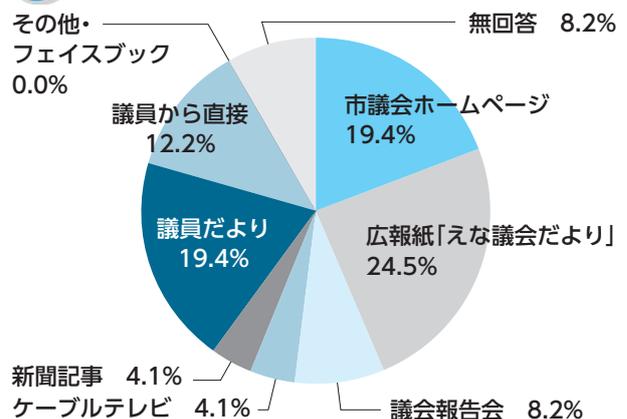
Q3. 傍聴に来られた目的、理由は何ですか。



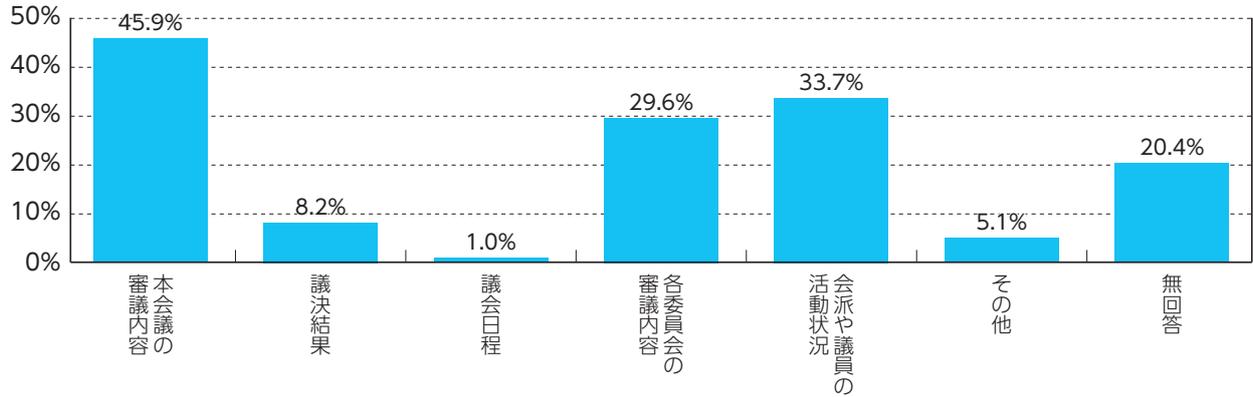
Q4. 議会での発言はよく分かりましたか。



Q6. 市議会の情報について、どこから情報を得ていますか。



Q5. 市議会の活動に関する情報で、あなたが知りたいと思うのはどのような情報ですか。(複数回答可)



Q7. 今回、傍聴されて気づいた点がございましたら、ご記入ください。

- ・新議場になってから発言音声がとても聞きとりやすい。
- ・初めて傍聴しました。議会の雰囲気味わうことができました。
- ・リニア中央新幹線の事について、具体的な内容が分かりました。今後も市民の立場に立った事を進めてください。
- ・議場の改装で議場内がよくみえる。
- ・他に傍聴者がいない。傍聴を増やす工夫はないか。
- ・議員の活動を垣間見られてよかった。
- ・ほぼ議員目線で傍聴でき良かった。
- ・中継には映らない議員の皆様の表情や発言を見聞きでき良かったです。勉強になりました。
- ・早口の答弁を読まれるので聞きとりにくい。もう少ししていねいをお願いします。

Q8. 恵那市議会全般について、ご意見、ご要望がございましたら、ご記入ください。

- ・以前、中学生の議会が開かれ、とても貴重な意見が出ていましたが、意見に対して何か市政の動きに影響があったのか、なかったのか今後の市政について知りたいと思います。
- ・女性議員の少ない(3/18名)こと。合わせて市側の回答者5/27名(女性)。
- ・多くの市民の目が必要だと思います。中高生も見学日があると良いのでは。議員の質問に今後とも丁寧に取り組んでいただきたいです。市民の思いでもあります。雰囲気がよくなりました。若者に知ってほしいです。
- ・市民の声をまっすぐに受け止めて、十分な議論をお願いします。
- ・未来に向け、持続可能な街づくりに向かって議会と市の発展を願います。
- ・高校生も選挙権をもっており、若い世代が地方政治に関心をもつことは、議員の担い手の解消、投票率の低下の防止という点から重要だと思います。高校生と市議会の交流の機会が増えると良いと思います。
- ・若者が興味を持てるようにお願いします。
- ・傍聴者が少ないので残念に思います。市民の人が関心を持って傍聴に来てもらえるようにしていただきたい。
- ・多くの意見が交流しあえる場であってほしい。

主な出来事

『スマートスピーカー』の実証実験が始まる
～飯地町～

人口約550人、高齢化率約45%の飯地町。今後、独居高齢者が増え、見守り等が困難になると予測される中で、市は希望した町民178世帯を対象にスマートスピーカーを設置し、日本郵便が提供する見守りサービスを活用した実証実験を始めています。スマートスピーカーからは、全世帯向けの行政情報、防災情報の配信のほか、独居高齢者には、服薬や体調確認の「音声と文字」が届くので、受け手は「はい」「いいえ」と自分の声で答えることが可能。また、飯地商店のスタッフ、振興事務所職員、民生委員や離れた家族とのビデオ通話もできます。

高齢化と人口減が進む中、ICT技術で住民の安心安全を守りたいと進めています。実証期間は2025年度まで。



飯地商店と振興事務所をつないでビデオ通話

表紙の説明

五毛座大規模改修工事完了
記念式典の様子

1951年に建設された飯地町の国登録有形文化財である「五毛座」の経年劣化による改修工事が完了し、この度完成を記念して4月12日に地元飯地町地縁団体主催により記念式典が執り行われました。



五毛座大規模改修工事完成記念式典

式典には国会議員や県知事をはじめ多くの関係者が出席、五毛座の完成と今後の発展を祈念されました。地域の方々も新しくなった五毛座に大変感激をされた様子でした。当日は、完成を記念し、中村勘九郎や中村七之助、恵那市出身の中村いてう等による春暁歌舞伎特別公演が会場のこけら落としとして行われ、華を添えられました。五毛座をはじめ、恵那市の歌舞伎文化が更なる発展をされますことを期待致します。

編集後記

新型コロナウイルス感染症が5類に移行して2年目に入りました。春の訪れからゴールデンウィークにかけて様々なイベントが行われ、コロナ禍以前のような賑わいを見せていました。

この間、恵那市は、宝島社の「住みたい田舎人口3万〜5万人部門」で総合1位となり、3月議会では令和6年度からの「子育て支援パッケージ」として新たな支援事業を開始する予算が決定されました。

一方、人口戦略会議報告では「消滅の可能性自治体」と報道されました。

まさに、今の恵那市は「これからの市政運営をどうするか？」の岐路に立っています。「住みたい田舎」にランクインされるような多くの魅力を十分に発揮し「消滅の可能性自治体」から抜け出すには、子育て支援だけでなく、総合的な施策が求められるところです。

議会としても、今後それらの施策についてしっかりと議論を行っていきたく思います。ぜひ、市民の皆様からのご意見をお寄せください。

(T・Hi)

広報広聴特別委員会

- | | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 佐々木 透 | 委員 | 服部 紀史 |
| 副委員長 | 太田 敦之 | 委員 | 安藤 直実 |
| 委員 | 林 貴光 | | |
| | 平林多津子 | | |
| | 堀 光明 | | |

次回の議会だよりは、9月1日の発行を予定しています。